

# 大地震・大洪水に負けるな！！

## 19年度、防災(避難)訓練へ家族ぐるみで参加を

築40年に近づき、老朽化が著しいホ号棟。

65歳以上の高齢者が3割を越えるホ号棟。

夫や息子など男子が通勤・通学で外へ出てしまい、

昼間は乳幼児を抱えて生活をする人が多いホ号棟。

今の日本では、どこにでもありそうな光景ですが、災害はそのような事情と関係なく襲ってきます。

先日の台風9号が、**東京で大暴れ**したとき、私達自慢の多摩川がかなり危険な状態になったことは、みなさんの記憶に新しいところ。

調布市で発行している「**多摩川洪水ハザードマップ**」によると、あの川の流れて土手が決壊した場合、この多摩川住宅ホ号棟は、洪水で覆い尽くされてしまいます。

大地震のときは、老朽建物から落下した危険物や倒壊物に行く手を阻まれてしまうかも知れません。

しかし、そのような不安に対してもホ号棟は立ち向かいます。

身体の強い人も、そうでない人もみんなが一丸となって、助け合い支えあって災害と対峙します。

みんなが助け合わなければ、ぶち破れない大災害の壁を、今年もホ号棟一致団結して突き破ります。

阪神淡路大震災(多摩川の洪水)を想定して「**ワン・フォー・オール、ひとりみんなのために**」「**オール・フォー・ワン、みんなはひとりのために**」の防災(避難)訓練を実施いたします。

※なお、**現在参加表を回覧しています。**

こぞって参加ご記入ください。

▲子どもには、備蓄食料の他に、「お菓子セット」を当日一緒に配ります。

▲備蓄食料およびお菓子セットは、ともに参加者分です。



【9月9日の台風時の多摩川】

## 訓練日程

9時 30 分過ぎから、理事会携帯マイクおよび消防署の広報車が、ホ号棟を巡回して、10 時からの訓練開催を告げる。

9時 00 分：各棟南側から形態マイクにて訓練実施の呼びかけ。

9時 30 分：消防署到着（広報にて巡回）→煙体験テント等の設営（補助あり）

10:00～

### 避難の開始

- 1 各棟南側から担当理事が**サイレン（前後2回）**と簡単な注意事項を呼びかける
- 2 **各家庭で避難開始**。（火の元を消し、入り口は施錠する）
- 3 階段の隣近所に呼びかけあって、  
**1階玄関前道路**に階段ごとに集合する。
- 4 階段委員は、集合場所で参加表により参加者のチェックを行う。
- 5 追加参加者は、参加表に記入し、未到着者は階段ごとに再度呼びに行く。
- 6 階段での集合が終わり次第、各号等担当理事が  
プラカードを持って立っている場所  
**（東西の市道との合流点）に集結**する。
- 7 担当理事は、全階段の集合状況を把握して  
**【さる山公園】**まで誘導する。

# 避難場所

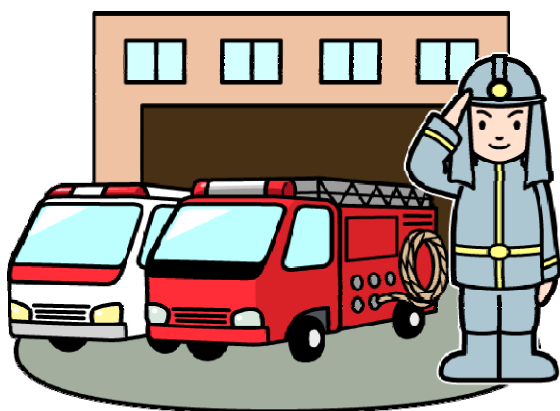


- 8 **【さる山公園】**では、指定された場所に整列し、  
階段委員は再度安全点検を実施する。
- 9 階段委員は、最終的な**参加表を担当理事に提出**する。  
全階段の参加表提出を受けた担当理事は、それを本部に提出する。（階段委員は、参加者の把握に努めるとともに高齢者など災害弱者に対して、いす席への移動を勧める）

**10:30**

## 避難会場における実演等の開始

- 1 理事長からの挨拶
- 2 調布消防署・国領出張所からの挨拶と実演（予定）



### ・救急医療の実演

### ・消火器の訓練など

- 3 防災関連グッズの紹介
  - ・ホ号棟倉庫および防災備蓄品
- 4 当日の参加者状況の報告
- 5 全体の講評「(消防署、管理組合)」
- 6 防災(避難)関連飲食物の紹介と提供→管理組合集会室前にて配布

- ・アルファ米、クラッカー（市役所より）
- ・あめ、子供用お菓子セット（管理組合より）
- ・本部に水飲み場を設置する。

**12:00頃** 訓練終了→解散

**※平成19年度 防災訓練当日配置図及び避難経路図は、別紙参照**

# 平成19年度第2期(後半) 階段委員会のお知らせ

**9月30日(日)午前10時～**  
**ホ号棟管理組合集会室**

- 防災(避難)訓練の実施
- 訓練の概要発表
- 階段委員の役割分担

**階段委員の方は、必ず出席してください。**

